

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	青少年健全育成団体運営事業			会計	款	項目	大	小	
				01	10	05	09	02	05
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課				
施策	3-3	次代を担う青少年を育てる地域環境づくり		主管課長	中西 直人				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	青少年健全育成団体	意図	健全な青少年を育成する社会環境づくり
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年健全育成団体への補助金交付及び指導及び育成を行う。</li> <li>青少年健全育成団体の活動を通じた健全育成事業の推進及び普及を行う。</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	流山市青少年相談員連絡協議会は昭和39年に千葉県が青少年相談員制度を設けたことにより、流山市においても青少年相談員を委嘱し、連絡協議会が設置された。流山市子ども会育成連絡協議会は昭和45年、流山市青少年育成会議は昭和53年に設置され、各団体はそれぞれ独自で事業計画を立て活動している。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	団体の事業の回数	74	62	73	事業	→→
②	子どもの育成活動を行っている市民の割合	18.90	17.60	14.60	%	↑↑↑	まちづくり達成度アンケート	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・青少年相談員連絡協議会、子ども会育成連絡協議会、青少年育成会議、ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会は、各団体がそれぞれ計画に基づいた事業を実施しているが、団体が行う事業によっては内容のマンネリ化がみられる。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,377,260	4,818,506	4,824,500				
事業費(b)(円)		3,317,760	2,804,906	2,846,900				
うち一般財源		3,317,760	2,804,906	2,846,900				
職員給与費(c)(円)		2,059,500	2,013,600	1,977,600				
人役・職員(人)		0.30	0.30	0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	補助金を交付するほか、各団体との緊密な連携を図る。	③取組における課題(Check)	各団体の後継者育成及び人材の発掘、子ども会育成連絡協議会においては、地域における子ども会の組織化
②H30に実施した取組(Do)	補助金を交付するなどの支援のもとに、団体による様々な青少年育成事業が実施された。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	各団体間の連携を強化すること及び子ども会等の登録の推進